

便潜血が陽性と言われたら

陽性は「大腸がんがある」という意味ではありません。要精密検査の方のうち、実際にがんが見つかるのは約33人に1人です。ただ、それを確かめられるのは大腸内視鏡だけです。便の検査をやり直しても、代わりにはなりません。



なぜ内視鏡が必要か

- ・大腸がんやポリープは毎日出血しているわけではありません。2日のうち1日でも陽性なら、精密検査が必要です
- ・「もう一度便を調べて陰性なら安心」は正しくありません。便の検査のやり直しは精密検査の代わりになりません
- ・痔がある方でも、出血が痔のせい、がんやポリープのせいかは、内視鏡で見ないと分かりません
- ・早いうちの大腸がんは症状がないことが多く、「症状がないから大丈夫」とは言えません。早く見つけて治療すれば、大腸がんで亡くなることを防げます

大腸内視鏡検査の流れ

- ・下剤を飲んで大腸を空にしてから、肛門から内視鏡を入れ、大腸の全体を観察します
- ・ポリープが見つければ、大きさや形によってその場で切除したり、組織をとって調べたりします
- ・まれに出血や、腸に穴があく（穿孔）ことがあります
- ・血をさらさらにする薬を飲んでいる方は、予約のときにお伝えください

受けずにいる方が少なくありません

全国の自治体の検診では、要精密検査と言われた方のうち精密検査を受けたのは約7割（令和4年度、大腸がん検診）で、5つのがん検診の中でいちばん低い数字です。受けなければ、検診を受けた意味がなくなってしまいます。

こんなときは相談してください

- ・精密検査の予約や、下剤の飲み方、当日の薬（血をさらさらにする薬、糖尿病の薬など）の扱いは、担当医にご相談ください
- ・結果を待たずに、血便、腹痛、便が細くなる・便通が急に変わる、といった症状があるときは、早めに受診してください

この紙は、担当医の説明を補うものです。診断や治療の指示ではありません。気になることは担当医にご相談ください。

出典: 国立がん研究センター がん情報サービス「大腸がん検診について」 https://ganjoho.jp/public/pre_scr/screening/colon.html / 国立がん研究センター がん統計「がん検診の都道府県別プロセス指標」 https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/screening/process-indicator.html / 厚生労働省「がん検診」 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000059490.html>

作成: マナビア（MANNAVIA、現役内科医） / 最終確認: 2026/09/15 / 製薬会社の資金は受けていません / mannavia.com/leaflets/fobt-positive-next